

タイトル… 汐製菓会社の新作…  
キャンディー

登場人物

汐（しお）

30代。汐製菓会社の社長。座右の銘は「面白きことも無き世を面白く」。奇想天外な発想で新しい菓子商品を考案する快活な性格。

塩田（しおだ）

30代。汐の秘書の女性。真面目で心配性。常に汐の突飛なアイデアに振り回されているが、実は大の菓子好きで、そのために製菓会社に就職した。

第一幕… 発想の原点

（舞台は汐製菓会社の会議室。大きなホワイトボードに「新商品アイデア」と書かれた文字が見える。汐が椅子に座り、深く考え込んでいる。塩田がノートを持ちながら隣に立っている。）

汐

（興奮気味に）塩田君、今回はこれだ！世間をあっと言わせる新商品！麻婆豆腐味のキヤンディを作るんだ！

塩田

（困惑しながら）え…麻婆豆腐味…ですか？社長、それはちょっと…斬新過ぎませんか？

汐

（目を輝かせて）そうだよ！これこそ「面白きことも無き世を面白く」だ！甘くて辛い、そんな味わいが人々を虜にするに違いない！

塩田

（戸惑いつつも、メモを取る）ええ…でも、甘いお菓子としてどうなのか、試してみないと…

汐

（椅子から立ち上がり）試す必要なんてない！アイデアが成功するのは確信しているんだ！まずは試作品を作らせて、すぐに試食会を開こう！

塩田

（苦笑いしながら）分かりました、社長。でも念のため、スタッフにも試食してもらいましょうね。

---

## 第二幕… 試作品の製作

（舞台は製菓工場のキッチン。職人たちが忙しく作業している。塩田が試作の指示を出し、汐がキッチンを巡回している。）

汐

（職人たちに指示を飛ばしながら）もつと辛味を強く！そして後味は甘く！塩田君、どうだ、もう試食してみたか？

塩田

（恐る恐る）ええ、少しだけ…。でも、すごく辛くて…。口の中が燃えるようでした…。

汐

（大笑いしながら）それが狙いだ！麻婆豆腐の刺激がキャンディに詰まっているんだ。これこそ革命だよ！

塩田

（少し不安げに）革命的過ぎる気もしますが…でも、こんな商品、誰が買うのでしょうか？

汐

（自信満々に）誰もが買うさ！なにせ、この新しいキャンディは世界を席卷するんだ！

（舞台は徐々に暗転し、塩田がため息をつく姿が見える。）

---

### 第三幕… 試食会のドタバタ

（舞台は豪華な会議室。テーブルの上に試作された麻婆豆腐味のキャンディが並べられている。国内外の食品関係者やメディアが集まっている。汐が壇上に立ち、誇らしげにキャンディを紹介している。）

汐

（マイクを握りしめ）皆さん！これが我が社の最新作、「麻婆豆腐キャンディ」です！辛さと甘さの絶妙なハーモニーを楽しんでください！

（参加者たちは怪訝な顔をしつつも、キャンディを手取る。）

外国人参加者▶

（キャンディを口に入れた瞬間、驚いた表情で）オーマイゴッド！これは…スパイシーすぎる！

外国人参加者Ⓜ

（咳き込みながら）キャンディでこんなに辛いのは初めてだよ！誰がこんなことを思いつくんだ？

国内参加者▲

（顔をしかめながら）口の中が火事だ！誰か水を…！！

（会場が混乱する中、塩田が後ろで頭を抱えている。）

塩田

（心の声）やっぱり、こうなると思った…。どうして社長はこんなに突拍子もないアイデアばかり…。

汐

(慌てずに) 皆さん! 驚くのは当然です! これ  
れが新しい味覚の体験、我々は時代を先取  
りしているんです!

塩田

(内心焦りながら) 社長、こんなに不評だと、  
会社のイメージが悪くなってしまう…。

汐

(自信満々に) 心配するな、塩田君! これは  
新たな挑戦の第一歩だ。次はもっと受け入れ  
られるものを作ればいいだけだ!

---

#### 第四幕… 反響とその後

(舞台は再び汐製菓会社の会議室。塩田が  
ネット上のレビューを見ながら頭を抱えてい  
る。)

塩田

（ため息混じりに）社長：ネット上では「麻婆豆腐キャンディ」が大炎上しています。売り上げも全然伸びていません…。

汐

（平然と）それは想定内だ。新しいことをするにはリスクが伴う。でも、これで終わりじゃない。次のアイデアがもうあるんだ。

塩田

（驚きながら）次のアイデア：ですか？今度はどんな味を考えているんですか？

汐

（ニヤリと笑って）カレーライス味のキャンディだ！これは世界中で大ヒット間違いなしだよ！

塩田

（愕然としつつも、あきらめ顔）また…面白き



ことも無き世を…ですね。でも、社長の情熱にはついていきます。

汐

（大きくうなずいて）その意気だ！さあ、新しい挑戦に向けて、また動き出そうじゃないか！

（舞台は明るくなり、エンディング音楽が流れる。汐と塩田が次のプロジェクトについて話しながら舞台を後にする姿で幕が閉じる。）

## エンディング

（観客が笑いと拍手で応じる。）

終わり